



平成26年度の自然学校が始まる！

ゴールデンウィーク最後の5月6日（火）、川西市立緑台小学校の子どもたちが本校にやって来て、平成26年度の自然学校がスタートしました。4月には中学校や高等学校のオリエンテーション合宿等で利用者がいましたが、本校は、やはり小学校5年生の子どもたちの笑顔や元気な声が、一番よく合っています。自然学校が、一生の思い出となるよう子どもたちを受け入れていきますので、今年度もよろしくお祈いします。

見晴台・展望枠の完成式典



観光客に人気のある竹田城跡の本校でのビュースポット（くすのきの館裏から野外キッチンに抜ける通路）に見晴台・展望枠を設置して、7日午前に緑台小学校の子どもたちを含む約80人が参加し、完成式典を行いました。

見晴台は標高約295mに位置し、山の斜面に竹田城跡を模して高さ1.5mの石垣を組んで整地しています。そこに、ムロの木で縦0.9m、横1.7m、高さ0.9mの「展望枠」を設置しています。当日は、テレビ局や新聞社の取材があり、子どもたちは

緊張気味でしたが、約3km離れた竹田城跡を絵画のようにのぞき込み、「わー、きれい。登ってみたい」という歓声が沸きました。

入校時に、天空の城を望む見晴台で記念写真を撮ってみてはどうでしょうか。本校から竹田城跡が見える場所は、食堂横、この見晴台、きつねコースにある展望の丘、むささびコースの4ヶ所ですが、見る場所によって竹田城跡の見え方が違うので、それらも楽しんでみてください。



この完成式典以外にも、開校20周年記念事業として、記念シンポジウムの開催や年間を通したリレーイベントを計画しています。6月末までの期間限定ですが、食堂に人と自然の博物館との連携事業によるスズメバチ（牛革製の模型）と、日本地学研究会の協力による鉱物の展示を行っていますので、ぜひ、ご覧ください。



この完成式典以外にも、開校20周年記念事業として、記念シンポジウムの開催や年間を通したリレーイベントを計画しています。6月末までの期間限定ですが、食堂に人と自然の博物館との連携事業によるスズメバチ（牛革製の模型）と、日本地学研究会の協力による鉱物の展示を行っていますので、ぜひ、ご覧ください。

開校20周年記念シンポジウムのお知らせ

- 1 日時 平成26年10月22日（水） 13:00～
- 2 内容

- (1) 自然体験プログラムの実体験 「丸ごと1本の木から学ぶ」 実施校：小野市立河合小学校
講師：宮田 和男 氏（樹木医）・稲葉 広 氏（林業関係者）
- (2) パネルディスカッション テーマ「自立へいざなう自然学校」
コーディネーター：兵庫県野外教育研究会 代表 山田 誠 氏
パネラー：大阪国際大学 教授 高見 彰 氏 ・ 七松幼稚園 園長 亀山 秀郎 氏

たくさん先生方に、参加していただきますようよろしくお願いいたします。

今年度からのホームページの写真掲載について



本校では、利用校の活動の様子をホームページに掲載することにより、保護者をはじめ一般県民に自然学校推進事業を理解していただく機会としています。併せて、利用校の保護者に安心感を与えとともに家庭において共有できる話題の提供に寄与するとともに、利用校の先生方の協力により、子どもたちの



様子が詳しく伝わるものと考えています。事前説明会時に、昨年度まで本校職員が写真を撮っていたのを各利用校にお願いしたいという話をしたときに、難しいという学校もありましたが、本校職員では撮影できなかった食堂や生活棟、キャンプファイヤーでの様子が、はっきりとわかるような写真が撮影されています。特に、どんな食事をしているのかということは、保護者の一番の関心事かもしれません。本校職員が写真を撮影してコメントを書くと、どうしてもマンネリ化したものとなっていました。利用校の先生方の写真やコメントは、子どもの実態や自然学校のねらいにそったものであり、また、保護者の気持ちを察したものとなっています。ひと味も、ふた味も違ったものとなっています。まだ、ホームページの写真掲載を悩んでいる学校は、再度、検討して頂きますようよろしくお願いいたします。



平成26年度主催事業紹介



4月26日(土)・27日(日)に、6組22名の参加者のもと、「第1回親子で自然学校」を実施しました。今回は、山菜探し(竹の子掘り)、ナイトハイク、自然物で遊ぼう、バードウォッチングという内容のように、「歩く」ことを重視してプログラムを考えてみました。同じ場所を歩いたとしても、午後、夜、午前と時間帯によって景色が違ふし、活動内容によって、参加者の視線が違ふので、

新しい発見が大いにあったかと思います。二日間とも好天に恵まれ、タラノメ、コシアブラ、リョウブ、ヨモギなどの山菜を採取し天ぷらにして食べたので、参加者の感想には、「本当に贅沢な昼食をいただいた」というものがありました。4月下旬の自然学校では、この事業と同じようなプログラムを楽しむことができます。



以前、親子で自然学校に参加された先生が、翌年の自然学校の担当者となられ、「日帰りの下見も大切だけど、実際に泊まって食事をするので、より南但馬自然学校のことをよく分かった」と、おっしゃっていたのを思い出しました。8月の「第2回親子で自然学校」以降に、小学生のお子さんがおられる先生方の参加をお待ちしています。

編集後記

今年度の自然学校は、51グループ73校の利用があります。今回は、本校開校20周年記念事業のPRに焦点を絞り、「指導課だより」を作成しました。次回は、利用校のトピックスを掲載する予定です。お楽しみに！

(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)